

鹿 総 企 第 6 2 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

鹿部町長 川 村



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別添のとおり提出します。

(総務・防災課企画振興室)

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 鹿部町

・道路整備に必要な財源の確保

北海道においては、移動、物資輸送の大半を自動車交通に依存しており、道路は生活、経済活動の根幹となる社会基盤である。

また、冬期間の厳しい気象条件や自然災害時に発生する交通障害や交通事故、道路の計画的な補修、更新等、多くの課題も抱えている。

このことから幹線道路から住民に密着した市町村道に至る道路網の計画的整備、維持管理等は最も重要な施策となっている。

国においては、道路特定財源の一般財源化を閣議決定しているが、地方が必要とする道路整備、維持管理等に要する財源の確保を明確にし、北海道の実情に応じた道路整備が着実に推進できることを要望する。

また、地方道路整備臨時交付金制度の継続、拡充を図ることも併せて要望する。

・現国道の維持

地方分権改革推進委員会の勧告による直轄国道の移管問題については、北海道との協議を十分行ったうえで慎重に対応することを要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道 鹿部町

○現状

①駒ヶ岳噴火時の避難道路としての国道278号鹿部バイパス整備

②高度医療施設（総合病院）への救急搬送

③冬期間の交通障害対策

④物流の効率化

○課題

①着工から10年が経過しているが、完成の目処が立っていない。

駒ヶ岳噴火における避難道は現状の国道278号しかないことから、バイパスの早期完成を強く望む。

②当町には総業病院がなく、救急時には函館市内の総合病院へ搬送することがほとんどである。現状、函館新道の整備により整備以前に比べ搬送時間の短縮がなされているが、国道5号までの道々43号（大沼公園鹿部線）の一部に急カーブや狭隘な箇所があることからこれらの解決を望む。

③道々43号（大沼公園鹿部線）は、冬期間にはアイスバーンによる交通事故が多発する状況にある。通勤、買い物及び救急搬送時に非常に危険な道路であることから滑り止め対策は重要な課題である。

④当町は漁業、水産加工業を基幹産業とし、漁港から水揚げされる新鮮な魚介類を早く消費地に輸送することが重要であり、高規格幹線道路等の早期整備を望む。

今後の道路行政についての意見・提案

北海道 鹿部町

②－２ 地域の目指すべき将来像

当町は人口５，０００人未満の小さな町ではあり、合併をせず単独で町政を行っていく考えである。

道路行政については、町の規模に関係なく、その地域に居住する住民にとって重要な施策である。

特に駒ヶ岳噴火という特殊な問題を抱え、鹿部バイパスの早期完成は町民の切なる願いである。

鹿部バイパスの完成に合わせ、アクセスする町道の整備、まちづくり、上水道整備等、行政として行わなければならない課題もある。

鹿部バイパス完成が当町の今後の発展に欠かせないものとなっている。

また、道央圏とつながる高規格幹線道路の函館市までの早期完成も当町の物流等における効率化において重要な施策である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道 鹿部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・地域活力の向上	・鹿部バイパスの早期完成 ・現国道２７８号の歩道整備 ・道々、国道、高規格道路の整備	・噴火時の避難道 ・地域住民の安全確保 ・道路の高速ネットワーク化による人、物流の高速移動	